

《2025年度セミナー 講演タイトル一覧》

2025/06/04	新来港者の為の経営者説明会
2025/09/10	HKTDCセミナー:国際貿易環境の変化に対する日本企業の対応状況の報告
2025/10/23	大湾区セミナー:紅いシリコンバレーの今 ~GBAにおけるイノベーションの活用
2025/11/11	経済セミナー:元日銀エコノミストと読み解く— これからの日本経済、金融市場
2025/11/27	経済セミナー:「China + 1」— 香港から再定義する日本企業のアジア成長戦略(Asia Hub)
2025/12/12	為替動向セミナー
2026/01/19	新春セミナー
2026/01/21	香港賃金セミナー
2026/02/29	中国賃金セミナー

《2025年度部会 講演詳細》

(1)繊維・化学品部会

2025年4月10日	第7回	<p>1. 定例議事 2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案 3. 講演 演題: 中国とベトナムの繊維産業の今 講師: 岩下 祐一氏/「繊維ニュース」上海支局長(ダイセン株式会社)</p> <p>【概要】中国はいまだに繊維生産大国かつ巨大な消費市場です。一方、米中対立やコロナ禍を機に中国からの生産シフトが加速するベトナムが、新たな生産基地として台頭しています。地場ブランドも登場しています。今回は、両国の繊維産業の最新動向をご紹介します。</p> <p>参加者数: 会場27名(25社) 講師・事務局3名 合計30名(25社) ZOOM参加者合計17名(15社)</p>
2025年6月12日	第8回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題: 中国化学産業回顧と2025年見通し 講師: 沼澤 憲一氏/大阪支社長兼名古屋支局長 関西中部経済担当、化学工業日報社</p> <p>【概要】中国経済は一時的な消費停滞や企業投資マインドの低下に直面する一方、化学産業をはじめとする各分野では次代に向けた取り組みが加速している。量から質への転換が進む中国化学企業は、環境対応や国際展開、次世代市場への注力が顕著である。加えて、関連する産業用ロボットや水素分野の最新動向も昨年からの進展とともに紹介された。</p> <p>参加者数: 会場 30名(29社) 講師・事務局3名 合計33名(29社) ZOOM 9名(9社)</p>
2025年8月21日	第9回	<p>1. 定例議事 2. 講演 講師1: 岩下 祐一氏/「繊維ニュース」上海支局長(ダイセン株式会社) 演題1: 香港の製造業の歴史とこれから～「香港の価値」とは？～</p> <p>講師2: 久米美由紀氏/写真家 演題2: Made in Hongkong生活雑貨の魅力 【概要】岩下様より、繊維業を中心とした製造業の視点から香港の歴史と今後の展望についてご講演いただきました。久米様からは著書『香港百貨』を通じ、ウインターズ香港雑貨の魅力と現状、今後の可能性についてご紹介いただきました。両者の視点から、香港のものづくりの文化的・技術的背景と未来への可能性を探る講演となった。</p> <p>参加者数: 会場 25名(23社) 講師・事務局3名 合計28名(23社) ZOOM 20名(19社)</p>
2025年11月14日	第10回	<p>1. 定例議事 2. 視察 T&I部会と共催 深圳視察 Whale Dynamic(スマートモビリティ企業)、深圳日本商工会との交流ランチ(喜島総領事、中島会長他)、Mile Bot(ロボティクス企業)、中国最大級の技術展示会「HIGH-TECH FAIR」見学</p> <p>参加者数: 17名(14社) 事務局1名 合計18名(14社)</p>
2025年12月11日	第11回	<p>1. 定例議事 2. 懇親忘年会</p> <p>参加者数: 25名(22社) 事務局1名 合計26名(22社)</p>
2026年03月10日 (2/10から変更)	第12回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題: グローバル材料変革 — PFAS規制と先端材料が切り拓く新たな市場機会 講師: Elva Guo(国ジュン)氏/Senior Consultant Manager, Uzabase Hong Kong</p> <p>【概要】PFAS規制やESPR・ELVなどのグリーン貿易障壁が加速する中、材料規制対応は市場参入の前提条件となっています。本セミナーでは、規制動向を整理するとともに、ヒューマノイドロボット等の成長分野における先端・循環材料の戦略的機会を解説いただきました。</p> <p>参加者数: 会場 22名(20社) 講師・事務局3名 合計26名(21社) ZOOM 14名(13社)</p>

(2)環境インフラ部会

2025年4月15日	第17回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案</p> <p>3. 講演 演題: Towards a Sustainable Future: Initiatives for a Greener Terminal 講師: Ms May Wong / Head of Customer Service、Hong Kong International Terminals 【概要】 Hutchison Portsは、地球規模での環境保護に向け、排出削減や資源保護に取り組んでいる。戦略的意思決定に環境配慮を組み込むことで、生態系への影響を責任ある形で管理。講演では、持続可能な未来と次世代への責任を見据えた同社の取り組みについて、最新の事例を交え紹介された。</p> <p>参加者数: 会場20名(14社) 講師・事務局3名 合計23名(14社) ZOOM参加者合計6名(6社)</p>
2025年6月17日	第18回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 講演 演題: Great Cities・偉大城市 ~ 航空が支えた香港の発展と未来 ~ 講師: Philip Chen(陳南祿) / 香港ジョッキークラブ主席、香港空港公団取締役、その他 【概要】 キャセイパシフィック航空の元CEOとして香港の航空業界を率いてきた経験から、航空行政を切り口に香港の発展過程を紐解きます。グローバルな視点で他国との比較を行いながら、香港がどのように発展してきたかをご講演頂きました。</p> <p>参加者数: 会場26名(22社) 講師・事務局3名 合計29名(22社) ZOOM参加者合計7名(7社)</p>
2025年8月19日	第19回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 視察: 水素バス関連施設の視察 【概要】 環境技術の最新動向と現場理解を目的に、Toyota Tsusho (H.K.) Corporation Ltd.の協力のもと、水素バス関連施設の視察を実施。City Bus社より水素バス戦略の説明を受け、水素ステーション設備の見学および実機確認を通じて、水素モビリティの現状と可能性への理解を深める貴重な機会となった。</p> <p>参加者数: 会場18名(14社) 事務局1名 合計19名(14社)</p>
2025年10月31日	第20回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 視察: HKU建設現場の視察 【概要】 Penta-Ocean Construction Co., Ltd.(五洋建設)がおこなう、香港大学教育関連施設新築工事の視察を行いました。</p> <p>参加者数: 会場9名(8社) 事務局1名 合計10名(8社)</p>
2025年12月16日	第21回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 視察: マカオライトレール視察 【概要】 Mitsubishi Heavy Industries (HK) Ltd.ご協力のもと、マカオライトレール(LRT)の試乗体験を通じて都市交通インフラの最新動向にふれ、MHIマカオ事務所にてプロジェクト概要についてご説明頂きました。</p> <p>参加者数: 会場10名(9社) 事務局1名 合計11名(9社)</p>
2026年2月3日	第22回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 講演 演題: 現場業務を担っている方のための健康法とアンチエイジング 講師: 桑野 繁子氏・自然療法医師 【概要】 場業務を担う会員の健康維持とアンチエイジングをテーマに解説頂いた。食生活改善や赤血球を増やす栄養摂取、十分な睡眠、ストレスを溜めない習慣など、日常に取り入れやすい実践法を紹介し、心身を健やかに保ち長く活躍するための最新知識と実践のヒントが示された。</p> <p>3. 懇親会</p> <p>参加者数: 会場28名(23社) 講師・事務局2名 合計30名(23社) ZOOM参加者合計10名(10社)</p>

(3)テクノロジー&イノベーション部会

2025年4月23日	第17回	<p>1. 定例議事 2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案 3. 講演 演題： 香港日系企業の「地政学的リスク」認識と対応に関するまとめ 講師： 奥田岳慶氏／Managing Director、産業研究員事務所、JETRO HK 【概要】講演では、3月に実施した香港の日系企業を対象とする「地政学的リスク」に関するアンケート結果をもとに、当部会所属企業の認識と対応状況について報告された。中国・香港を取り巻く国際環境や政治的要因を踏まえ、各社がどのような懸念を持ち、どのようなリスク対策を講じているかが具体的に示された。 4. 懇親会 ※受動部品分科会あり</p> <p>参加者数： 会場33名(28社) 講師・事務局3名 合計36名(28社) ZOOM24名(23社)</p>
2025年6月20日 (27日から変更)	第18回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 香港におけるサイバー攻撃の最新事例とサイバーセキュリティのトレンド 講師： Cheung Kenson氏/Manager, KPMG 【概要】講演では、香港における最新のサイバーセキュリティ事情をテーマに、法規制やガイドラインの動向、注目されるトレンドについて紹介された。特に近年増加傾向にあるサイバー攻撃の最新事例を取り上げ、企業がそれらの脅威にどう対処すべきか、現代のセキュリティ戦略や技術動向を交えて解説された。</p> <p>参加者数： 会場15名(15社) 講師・事務局5名 合計20名(15社) ZOOM12名(10社)</p>
2025年8月22日	第19回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 中国・深センのイノベーションエコシステム 講師： 小野好樹氏 / 消費財・小売流通広州事務所イノベーション促進部部長 / 日本貿易振興機構 【概要】米国に次ぎ大きなスタートアップ投資市場を有し、300社以上のユニコーンが所在するとされる中国。イノベーション創出の原動力、中国のイノベーションを取り巻く環境に今起きている変化について、マクロのデータと中国発スタートアップと付き合い合う中での肌感覚を織り交ぜつつ解説いただいた。 3. 懇親会</p> <p>参加者数： 会場42名(37社) 事務局1名 合計43名(37社) ZOOM12名(11社) 講師1名 合計13名(11社)</p>
2025年11月14日	第20回	<p>1. 定例議事 2. 視察 繊維・化学品部会と共催 深圳視察 Whale Dynamic(スマートモビリティ企業)、深圳日本商工会との交流ランチ(喜島総領事、中島会長他)、Mile Bot(ロボティクス企業)、中国最大級の技術展示会「HIGH-TECH FAIR」見学</p> <p>参加者数： 17名(14社) 事務局1名 合計18名(14社)</p>
2025年12月5日 (26日から変更)	第21回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 2026年香港および華南地域賃金改定及び最新人事労務動向 講師： 福田 忠之様／Director、PERSOL Consulting 深セン 白雪様／Associate Director、PERSOL Consulting Hong Kong ギャラガー 七重様／Chief Consultant、同上 【概要】香港および華南地域の賃金改定率・ボーナス支給の最新動向、日系企業が知っておくべき関連政策、並びに報酬制度について日系企業でよくある事例とその対応策について解説頂きました。 ※受動部品分科会あり 3.懇親忘年会</p> <p>参加者数： 会場32名(29社) 講師・事務局6名 合計38名(29社) ZOOM19名(19社)※Zoom側サーバートラブルにより接続不可</p>
2026年2月27日	第22回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 中国における生成AI活用の動向と、今後のAI活用を考える視点 講師： 久保洋量氏・Manager・普华永道管理咨询(上海)有限公司(PwC)</p> <p>【概要】中国では生成AIへの関心が高まる一方、ユーザー企業ごとに取り組みの成熟度や進め方にはばらつきが見られます。本セミナーでは、中国における生成AI活用の全体動向を整理しながら、導入・活用を検討する際に押さえるべき論点や考え方を解説いただきました。また、今後のAI活用の広がりについても俯瞰的に紹介頂いた。</p> <p>参加者数： 会場29名(28社) 事務局1名 合計30名(28社) ZOOM28名(25社) 講師1名 合計29名(25社)</p>

(4)金融部会

2025年4月15日 (4/17から変更)	第317回	<p>1. 定例議事 2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案 3. 講演 演題： 香港金融セクターの人材・労務管理の最新トレンド 講師： 白雪／Associate Director、PERSOLKELLY Consulting Hong Kong ギヤラガー七重／Chief Consultant PERSOLKELLY Consulting Hong Kong</p> <p>【概要】香港金融セクターに焦点を当て、賃金と採用環境の現状と展望、ジョブ型人材管理の特徴、中国本土人材の実態・影響、日系企業における定年延長の動向を通し労働環境の変化について考察し、適所適材のリテンションにむけた人材・労務管理のヒントについて講演頂きました。</p> <p>参加者数： 会場21名(19社) 講師・事務局4名 合計25名(19社) ZOOM28名(27社)</p>
2025年6月19日	第318回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 異常気象と相互関税：変革の時代におけるリスクマネジメント 講師： 堀田積／アジア地域日系営業統括 クレジットスペシャリティーズ、Marsh (Singapore) Pte Ltd</p> <p>【概要】 気候変動による異常気象や関税の変動など、昨今の不透明な状況下で企業が直面するリスクとその管理の重要性について議論。効果的なリスクマネジメント手法を見直し、企業の持続可能な成長に向けた実践的なアプローチを提案頂きました。</p> <p>3. 懇親会</p> <p>参加者数： 会場38名(35社) 講師・事務局4名 合計42名(35社) ZOOM15名(14社)</p>
2025年8月21日	第319回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 香港における暗号資産ビジネスの動向と規制の最前線(英語) 講師： Leung Michel/Manager/KPMG Liu Corrie/Manager/KPMG Lanis/Partner/KPMG</p> <p>【概要】 香港は国際的な暗号資産取引ハブを目指し、取引所のライセンス制度やアジア初の現物ETF導入など積極的な施策を展開。投資者保護を目的とした規制強化も進められており、暗号資産ビジネスの健全な発展に向けた制度整備が目ざされている。最新動向と規制の最前線について解説頂いた。</p> <p>参加者数： 会場22名(20社) 講師・事務局6名 合計28名(20社) ZOOM22名(20社)</p>
2025年10月16日	第320回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 中国、香港のデータ保護の法規制の最新動向と実務対応 講師： 1)西村あさひ法律事務所外国法共同事業 上海オフィス 東城聡弁護士 2)西村あさひ法律事務所外国法共同事業 香港オフィス 坂本龍一弁護士、福王広貴弁護士</p> <p>【概要】 2017年以降に制定された中国のデータ三法とその実施細則により、同国のデータ規制の枠組みが整備されました。適用範囲や留意点にフォーカスし、越境データの免除要件や漏洩時の対応書類など、実務上のポイントを解説するとともに、香港のデータ保護法制やマネーロンダリング防止対策など、金融機関に求められる最新のガバナンス対応を紹介頂きました。</p> <p>参加者数： 会場37名(35社) 講師・事務局5名 合計42名(35社) ZOOM35名(28社)</p>
2025年12月18日	第321回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 中国経済の短期・長期の見通し 講師： 鈴木貴元氏、経済研究チーム長、丸紅(中国)有限公司</p> <p>3. 懇親忘年会</p> <p>【概要】 経済見通しと五か年計画、米中摩擦の出来事と対応などから、経済、政治、国際環境の先行きを読み解き、中国企業の海外展開から、中国の新しいトレンドと日本企業への影響を考察頂きました。</p> <p>参加者数： 会場51名(45社) 講師・事務局2名 合計53名(45社) ZOOM35名(28社)</p>
2026年2月12日	第322回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題： 2026年 香港商業用不動産の最新動向と展望 講師： 橋本 剛氏 - Director /CBRE Advisory Hong Kong Limited</p> <p>【概要】 2025年後半以降、香港の商業用不動産市場に変化の兆しが見え始めています。本プレゼンテーションにて、最新の不動産マーケット環境と今後の展望を解説頂きました。</p> <p>参加者数： 会場29名(26社) 講師・事務局2名 合計31名(26社) ZOOM39名(31社)</p>

(5)運輸保険部会

2025年5月9日 (5/2から変更)	第322回	<p>1. 定例議事 2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案 3. 講演 演題：2025年中国データ規制についての新たな動きと対策 講師：高城 勝 / Director/PricewaterhouseCoopers (PwC) 【概要】講演では、中国におけるサイバーセキュリティやデータ保護、データ越境に関する法整備の変遷と、2024年の規制緩和及び2025年以降の監督強化の動向が紹介された。日本人経営者を対象とした内容で、法務専門家向けの技術的解説ではなく、企業として留意すべき要点を整理。中国および香港に進出する日系企業が今後どのように対応すべきかについて実務的視点から解説された。</p> <p>参加者数：会場34名(31社) 講師・事務局3名 合計37名(31社) ZOOM19名(17社)</p>
2025年7月4日	第323回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：2025年 香港商業用不動産の最新動向と展望 講師：橋本 剛 / Director, Advisory & Transactions - Japan Desk, CBRE Advisory Hong Kong Limited 【概要】本講演では、香港および大湾区における商業用不動産市場の最新状況と今後の見通しについて解説が行われた。香港におけるオフィスやリテールスペースの動向を中心に、市場の構造的変化やテナント需要の傾向が紹介されたほか、倉庫市場にも言及があり、香港・深圳・広州それぞれの物流拠点における供給状況や不動産戦略について具体的な説明がなされた。</p> <p>参加者数：会場27名(26社) 講師・事務局3名 合計30名(26社) ZOOM19名(14社)</p>
2025年9月2日	第324回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：貨物事故における具体例とその防止策について 講師：大平 康則 (Yasunori Ohira) / General Manager Risk Engineering Headquarter / Sompo Insurance China . Shanghai Branch 【概要】運送業者において、貨物事故の防止はオペレーションを行う上で関心事項となります。具体的な保険の事故事例を踏まえて留意すべき事項を説明頂きました。</p> <p>参加者数：会場27名(26社) 講師・事務局3名 合計30名(26社) ZOOM19名(14社)</p>
2025年11月20日	第325回	<p>1. 定例議事 2. 視察 海運コンテナヤード視察 【概要】MOL Hong Kong Limited様のご協力のもと、HIT施設視察を実施。企業紹介や港湾模型による説明、COSCO-HIT遠隔操作室の見学、ヤードでのオペレーション視察を通じて、国際物流の現場を体感する貴重な機会となりました。</p> <p>参加者数：会場17名(14社) 事務局1名 合計18名(14社)</p>
2026年1月9日	第326回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：NNAが選ぶ2025年の香港10大ニュース 講師：福地大介氏 / 香港&華南版編集長 / NNA HONG KONG CO., LTD. 3. 懇親忘年会 【概要】NNAが選定した10大ニュースを通じて2025年度を振り返った。地域経済の動向や政策の変化、社会課題への対応などを改めて確認。香港が持続的な成長を模索しつつ、国際都市としての役割を再確認する契機となるなど2025年は香港の方向性について再認識するきっかけとなった。</p> <p>参加者数：会場45名(44社) 講師・事務局2名 合計47名(44社) ZOOM11名(11社)</p>
2026年3月9日 (3/6から変更)	第327回	<p>1. 定例議事【2部会共催】 2. 講演 演題：海外投資セミナー～わが国企業の海外事業展開調査(GLOBE)(第37回) 講師：伊藤正大氏・株式会社国際協力銀行 調査部次長兼第1ユニット長 【概要】国際協力銀行が毎年実施している海外事業展開調査(GLOBE)(第37回)の結果報告いただいた。海外拠点をもつ日本企業から得たアンケート回答をもとに、海外事業展開見通し、有望事業展開先に加え、米国政策のサプライチェーン等への影響、AIによる事業の変革とビジネスチャンスや海外事業を通じたサステナビリティへの取り組み等についてご説明いただきました。</p> <p>参加者数：Zoom19名(18社) 講師・事務局3名 合計22名(18社)</p>

(6)観光サービス部会

2025年4月16日	第361回	<p>1. 定例議事 2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案 3. 視察報告 4. 講演 演題: 訪日インバウンドの現状と日本政府観光局の取組 講師: 丸山 智恵彌氏／香港事務所長、日本政府観光局 (JNTO)香港事務所 【概要】香港からの訪日旅行者に関する最新データをもとに、旅行市場の現状と動向について報告が行われた。近年の訪日需要の回復傾向を踏まえつつ、訪日目的や旅程の傾向などが具体的に示された。また、JNTO(日本政府観光局)による外国人旅行者誘致に向けた最新の施策やプロモーション戦略が紹介され、今後の香港市場へのアプローチと展望が共有された。</p> <p>参加者数: 会場36名(31社) 講師・事務局3名 合計39名(31社) ZOOM10名(6社)</p>
2025年6月18日	第362回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題: 日本から香港インバウンドの課題認識とその解決に向けた戦略 講師: 佐伯 道子 氏／トレードマーケティング、シニアマネージャー、香港政府観光局 【概要】日本からの海外旅行市場の回復状況を踏まえ、香港が現在どのようなポジションにあるかについて説明があった。あわせて、香港が抱える観光面での課題やそれらに対する対策が整理され、香港政府観光局によるインバウンド促進を目的とした各種プロモーション計画が紹介された。今後の施策を通じ、さらなる日本人旅行者の受け入れ強化に向けた展望が示された。</p> <p>参加者数: 会場31名(25社) 講師・事務局3名 合計34名(25社) ZOOM16名(13社)</p>
2025年8月20日	第363回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題: 香港航空業界の今 講師: 速水 孝治氏/香港支店長/ Japan Airlines Co., Ltd. 【概要】香港航空業界の最新動向として、香港国際空港の3本滑走路の同時運用開始と再開発計画、SAF(持続可能な航空燃料)導入に向けた連合の発足、緊急時の救援チャーター体制の整備状況について解説が行われた。また、7月に噂された日本大災害による旅行の減少傾向とその後の回復状況についても、最新データを交えて講演頂いた。</p> <p>参加者数: 会場40名(36社) 講師・事務局2名 合計42名(36社) ZOOM30名(26社)</p>
2025年10月14日	第364回	<p>1. 定例議事 2. 視察 香港への誘客を実施するための観光資源視察 【概要】香観光サービス部会では、香港旅遊發展局の協力のもと「Kawaii消費」や「プチ贅沢」トレンドをテーマに観光資源の視察を実施。JTBガイドによる案内のもと、現地の魅力を体感し、昼食交流会では香港旅遊發展局との意見交換も行いました。</p> <p>参加者数: 会場11名(11社) 事務局1名 合計12名(11社)</p>
2025年12月17日	第365回	<p>1. 定例議事 2. 視察報告 3. 懇親忘年会 参加者数: 会場31名(27社) 事務局1名 合計32名(27社)</p>
2026年03月06日 (2/25から変更)	第366回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題: 訪日香港市場の動向 講師: 丸山智恵彌氏・日本政府観光局 香港事務所長 【概要】香港訪日旅行市場の基礎データ、香港における最近の海外旅行動向・訪日旅行動向、日本政府観光局香港事務所の活動についてご紹介いただいた。</p> <p>参加者数: 会場30名(28社) 講師・事務局2名 合計32名(28社) ZOOM17名(16社)</p>

(7) 食品・消費財・小売流通部会

2025年5月12日	第18回	<p>1. 定例議事 2. 会計報告 3. 2024年度活動報告と、2025年度活動予定のご案内 部会長：安藤 清隆氏／Executive Director, Chairman of the Board and Chief Executive Officer, Nissin Foods Co., Ltd. 【概要】24年度の部会活動の振り返りと25年度の部会活動の方針、計画について部会長より部会会員へ向けてご案内された。</p> <p>参加者数：会場31名(27社) 講師・事務局2名 合計32名(27社) ZOOM18名(16社)</p>
2025年7月14日	第19回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：2025 GBA Real Estate Market Update & Outlook 講師：Ada Choi, Head of Research, Asia Pacific at CBRE 【概要】本講演では、CBREアジア太平洋地域リサーチ責任者であるAda Choi氏より、広州・深圳・香港を含む大湾区（GBA）における最新の不動産市場動向について解説が行われた。リテール、物流、オフィスの各分野における主要トレンドが紹介され、地域経済や消費行動の変化を背景とした不動産需要の構造的変化について、具体的なデータと分析を交えて報告された。</p> <p>参加者数：会場21名(19社) 講師・事務局3名 合計24名(19社) ZOOM22名(16社)</p>
2025年9月8日	第20回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：日本産食品食材等の輸入拡大について 講師：領事館/竹谷領事、JETRO香港/川上部長、JFOODO香港/沖所長 【概要】日本産食品・食材の香港市場への輸入拡大をテーマに、領事館の竹谷領事、JETRO香港の川上部長、JFOODO香港の沖所長より、それぞれのお立場から現状や取り組み、今後の展望についてご講演いただきました。</p> <p>参加者数：会場34名(30社) 講師・事務局5名 合計39名(30社) ZOOM12名(10社)</p>
2025年11月10日	第21回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：香港・中国の労働市場の今と、昇給動向 講師：戸崎悦子氏（とさきえつこ）・会長・Pasona Asia Co., Limited. 黄禎祥氏（Acer Hwang）・華南地区総監 / 広州分公司・深圳分公司・保聖那人才服務（上海）有限公司 【概要】本イベントでは、香港を中心とした中国（華南大湾区）の労働市場情報に加え、パナソニアジアが香港で実施した独自調査結果を踏まえた「昇給・賞与」の傾向についてご紹介しました。</p> <p>参加者数：会場19名(16社) 講師・事務局5名 合計24名(16社) ZOOM33名(30社)</p>
2026年3月12日	第22回	<p>1. 中国日本商會食品グループとの共催（北京側議事進行） 2. 講演 講師（香港）：安藤部会長/Nissin Foods Co., Ltd. 執行董事、董事長兼首席執行官 演題（香港）：香港のマクロ経済、時事ニュース 講師（北京）：柳笛氏(Liu Di)/ 三井住友銀行(中国) 企業調査部 首席アナリスト 演題（北京）：「中国本土の小売業界・消費に関する動向」 【概要】北京・香港合同部会を初開催。中国食品業界と香港経済の動向を共有。中国では価格と価値の重視、エモ消費や健康志向が拡大し、冷凍食品や機能性飲料が堅調である旨が共有された。香港はGDP3.5%増、輸出入過去最高、訪港客は前年比12%増で「コト消費」へ移行、香港住民の「北上消費」が定着し流行トレンドの流れも変化している旨が共有された。</p> <p>参加者数：会場25名(21社) 事務局1名 合計25名(21社) Teams 23名(19社)※オンラインツールは北京側にて用意</p>

(8)企業支援部会

2025年4月9日	第20回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 2024年度活動・会計報告、2025年度活動案</p> <p>3. 講演 演題：香港政府の資金調達スキームと企業支援について 講師：KC Lam, Head of Consulates and Chambers, InvestHK 【概要】香港特別行政区政府の投資推進機関であるInvestHKより、企業向けの支援策について解説が行われた。成長とイノベーションを促進する政策、資金調達スキーム、インフラ整備など多岐にわたる支援内容が紹介され、香港におけるビジネス展開を後押しする政府の取り組みについて理解を深める機会となった。</p> <p>4. 懇親会</p> <p>参加者数：会場32名(28社) 講師・事務局4名 合計36名(28社) ZOOM33名(26社)</p>
2025年5月23日	第21回-1	<p>第3回若手育成会として</p> <p>【企画1】BEYOND EXPO視察</p> <p>【概要】若手育成会主催のGBA関連企画では、アジア最大級の技術展示会「BEYOND EXPO」視察を実施。展示会ではReGACY Innovationによる案内後、自由見学を実施。</p> <p>参加者数：17名(16社) 事務局1名 合計18名(16社)</p>
2025年6月25日	第21回-2	<p>第3回若手育成会として</p> <p>【企画2】若手育成会 GBA(大湾区)活用セミナー</p> <p>1. 講演 演題：日系企業のGBA(大湾区)活用に関して 講師：傅 浩丰(Fu Haofeng)氏 / CEO、ReGACY Innovation Group China</p> <p>2. ディスカッション</p> <p>3. 懇親会</p> <p>【概要】若手育成会主催のGBA関連企画では、アジア最大級の技術展示会「BEYOND EXPO」視察と、大湾区活用セミナーを実施。展示会ではReGACY Innovationによる案内後、自由見学を行い、セミナーではFu氏による講演とケーススタディを通じて、日系企業の成長戦略構築に取り組んだ。</p> <p>参加者数：28名(21社) 部会長・事務局3名 合計28名(21社)</p>
2025年6月2日	第22回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 香港サイエンスパーク視察</p> <p>【概要】香港サイエンスパーク(HKSTP)への視察では、香港のイノベーション・テクノロジー拠点としての最新動向を確認した。施設見学を通じて、研究開発環境やスタートアップ支援体制を体感するとともに、HKSTPによるエコシステム構築の取り組みについて説明を受けた。さらに、日立・ロート製薬による進出事例紹介を通じて、香港における企業活動の実態と可能性について理解を深める機会となった。</p> <p>参加者数：25名(23社) 事務局2名 合計27名(23社)</p>
2025年8月27日	第23回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 講演 演題：2025年香港人材市場の変化と対応方法 講師：井手 寛暁(Hiroaki Ide) / Director / PERSOL Consulting 【概要】香港人材市場の課題として、採用難・離職防止・人件費高騰への対応策について解説が行われた。Part1では最新データを用いて市場の現状を分析し、構造的な課題を把握。Part2では「本当のジョブ型人事」による業務分配を提案し、人件費抑制と生産性向上を両立する実践的なアプローチが紹介された。</p> <p>3. 懇親会</p> <p>参加者数：会場32名(28社) 講師・事務局4名 合計36名(28社) ZOOM33名(26社)</p>
2025年10月15日	第24回	<p>1. 定例議事</p> <p>2. 講演 演題1：最近の香港オフィス・路面店舗の動向 講師1：宮城信彬・部門長・BlackHills Consulting Limited 演題2：住居探しの注意点、実録トラブル集、Q&A 講師2：井上直文・支店長・ABLE REAL ESTATE AGENCY (HK) LIMITED 【概要】本イベントでは、香港のオフィス賃料や路面店舗の最新動向、住宅探しの注意点や実例を専門家が解説し、参加者に有益な情報を提供しました。</p> <p>参加者数：会場26名(25社) 講師・事務局4名 合計30名(25社) ZOOM47名(46社)</p>

2025年12月10日	第25回	<p>1. 定例議事 2. 講演 演題：新時代の香港活用について 講師：荒木智陽氏、アジア法人営業部 香港法人営業Gr ビジネスソリューション&アドバイザー長、株式会社三菱UFJ銀行 【概要】香港の事業環境に関する認識、トランプ2.0で変わる世界、新時代の香港活用、香港の社会課題・政策と日系企業のビジネスモデル創出、に関して考察をご説明いただきました。</p> <p>参加者数：会場57名(52社) 講師・事務局3名 合計60名(52社) ZOOM20名(20社)</p>
2026年3月9日	第26回	<p>1. 定例議事【2部会共催】 2. 講演 演題：海外投資セミナー～わが国企業の海外事業展開調査(GLOBE)(第37回) 講師：伊藤正大氏・株式会社国際協力銀行 調査部次長兼第1ユニット長</p> <p>【概要】国際協力銀行が毎年実施している海外事業展開調査(GLOBE)(第37回)の結果報告いただいた。海外拠点をもつ日本企業から得たアンケート回答をもとに、海外事業展開見通し、有望事業展開先に加え、米国政策のサプライチェーン等への影響、AIによる事業の変革とビジネスチャンスや海外事業を通じたサステナビリティへの取り組み等についてご説明いただきました。</p> <p>参加者数：Zoom19名(18社) 講師・事務局3名 合計22名(18社)</p>